

会 議 録

会議の名称	第1回飯塚市男女共同参画推進委員会
開催日時	平成28年5月24日（火）14：00～15：45
開催場所	立岩公民館 2階 第2研修室
出席委員	吉柳順一委員、妻鳥幸子委員、高橋笑子委員、山下弘美委員、 佐藤祐子委員、久田幸子委員、白瀧登美子委員、森本智賀子委員、 前田美紀委員、畠中和好委員、梅野政則委員
欠席委員	萬田喜利委員、小山治代委員、久原千景委員
事務局職員	企画調整部長、男女共同参画推進課長、企画担当主査、業務係長
会議内容	<p>1. 委嘱状交付式</p> <p>2. 市長あいさつ</p> <p>本日は飯塚市の男女共同参画推進委員会に、大変お忙しい中ご出席いただき誠にありがとうございます。日頃から皆様には市政全般に亘りましてご理解と協力を賜り心より感謝を申し上げます。</p> <p>さて飯塚市は平成18年にひとが輝き、まちが飛躍する、住みたいまち、住み続けたいまちを都市目標に掲げ一市四町が合併しました。13万5千人からのスタートで今年の3月に10年目を迎えました。この間、平成19年に飯塚市男女共同参画推進条例を制定し、第一次男女共同参画プランを策定し、男女共同参画社会の実現に向けて推進委員の設置を始め、各種推進講座の開催、また制度の周知徹底など様々な施策に取り組んでまいりました。その第一次男女共同参画プランも今年度が最終年度を迎えております。今年度は次期のプランを策定することといたしておりまして、また我が国では少子高齢化の進展など社会経済情勢が刻々と変化をして次世代の育成や働き手の確保が課題となる中、女性の活躍を推進するための法律、女性活躍推進法が本年4月1日より施行され、更なる女性の社会参画と男女共同参画の推進が求められています。これらの中、委員の皆様におかれましては、本市の次期のプランの策定並びに進行の管理に関する事項の審議等、大変重要な役割を担って頂くこととなりますが、長年培ってこられた知識と経験を存分に活かして頂き、男女共同参画社会の実現のためにご尽力を賜りますようお願いを申し上げます。</p> <p>3. 【議題】</p> <p>(1) 会長及び副会長の選出</p> <p>A：会長に吉柳順一さん、副会長に萬田さんということで推薦したいと思</p>

う。

萬田さんは今日欠席だが、昨年まで私が会長で副会長として支えて頂いた。吉柳順一さんは元県議会議員さんでもいらっしゃるし、いろんな分野で活躍されている。ぜひ推進委員会の中で引っ張って行ってほしいということで会長に推薦したいと思う。

会長に吉柳委員、副会長に萬田委員にて承認

<会長あいさつ>

只今会長にご承認頂きました吉柳でございます。先ほど学識経験者ということで、私もまだ学んでいる途中ですので皆様のご協力をお願いしながら会長として務めたいと思います。よろしく申し上げます。

(2) 飯塚市男女共同参画推進委員会の所掌事務及び「飯塚市男女共同参画推進条例」について

<事務局より説明>

Q：質問等はあるか。

質疑なし

(3) 「飯塚市男女共同参画プラン（後期計画）」の概要及び「第2次飯塚市男女共同参画プラン（仮称）」に係る基本的な考え方についての諮問

<事務局より説明>

Q：質問等はあるか。

Q：基本目標が4つから3つになることについて異論はない。むしろ良い状況になっていくのかなと思っている。目標の1と2を包括して目標1になるという理解で良いのか。

A：おっしゃる通り。基本理念の男女の人権が尊重され、というのが基本目標の1にあたると思う。人権という言葉が無いので事務局の方で盛り込むかどうか考えたいと思う。重点目標の中に人権の中にDVや健康支援が無いということだが、意識づくりの中で男女共同参画についての教育、啓発を行っていくということで、現行プランのDVや健康支援の関係については、安全・安心のまちづくりというところで考えていけたらと思っている。

Q：男女の人権が尊重される社会づくりを次の項目に移したことについて基本理念が新たにトップに行ったので、目標1の意識づくりの中に男女の人権が包括されていると捉えていいか。

A：目標の中で人権という言葉が入っていないので、人権という言葉については事務局の方で検討している。専門部会でも取り入れ方について

検討したいと思っている。

Q：人権の言葉について事務局として意向を持っているということで。他に質問はあるか。

A：「共に生きる」の紹介ありがとうございます。教育委員会との懇談の中で、年度当初に配るときに伝え方の案として道徳の授業で使って下さいとお話しが出たが、道徳の授業だけではなくいろんな形で広く使ってほしい。

A：基本的にと申し添えておりましたので道徳の授業以外でも使われているのは聞いている。いろんな場面で利用、活用していただければと思っている。

Q：質問はないか。

基本目標が4点から3点に絞ったことと、基本理念が加えられたことについて確認の上で進めていきたいと思うので、ご了承いただけるか。了承いただけたということで進めていきたいと思う。

(4) 平成28年度事業計画について

<事務局より説明>

Q：事前に頂いた資料を拡大して頂いたということ。推進委員会が5回となっているが、1月に6回の推進委員会と書いてあった。1回無くなった理由は何か。

A：推進委員会は年間5回を予定している。昨年は市民意識調査もあり会議の回数も多かったが、今年度は策定専門部会等もあるので進行管理もしていくことにはなるが5回で考えている。無くなったわけではない。

Q：6回というのはミスプリントということか。策定の状況や事情によって回数を増やすことは可能か。

A：予定としては5回だが、進行状況等によっては予算の範囲内で回数を増やすことも可能かと考えている。

Q：予算の範囲内で回数を増やすことも可能ということか。流れを見ていく中で。

A：1回のボリュームが大きくなると思うが、5回の中で全て協議に取り入れていこうと考えている。

A：基本的には5回で終わらせるということで進めたいと思う。集中して議論を進めて頂ければと思う。

Q：業務部門の女性相談事業。大変利用しやすいと思うが、時間的な部分のフルタイムで働いていると利用しにくいと思う。昨年度どのくらい利用があったのか。月4回ある一般相談などは、一日位は時間が遅くまでする等、フルタイムで働いている女性の方も利用しやすいような

	<p>方向で考えて頂けたら良いと思う。</p> <p>A：おっしゃる通り。時間については今後検討していきたい。昨年度の法律相談の数は年間 42 件。一般相談は年間 47 件。就労支援相談が 1 件。職場の悩み相談も 1 件。</p> <p>Q：時間等、年度途中からも変更可能か。</p> <p>A：年度途中からはできないので来年度からになる。</p> <p>A：本年度は変更できないのでやるとすれば来年度から。</p> <p>(5)「専門部会」及び「女性活躍推進協議会」の設置及び委員の選任 <事務局より説明></p> <p>Q：専門部会を設けること、女性活躍推進協議会を設けるということ。委員については両方を兼ね、7名でという提案。意見等あるか。そういう方向で進めて良いか。</p> <p>了承</p> <p><事務局より女性活躍推進委員についての提案></p> <p>会長、副会長、その他 5 人の方につきましては、学識経験者、労働部門の関係行政機関、市民団体、事業者関係、公募委員からそれぞれ 1 名お願いしたいと考えている。</p> <p>学識経験者としては妻鳥委員、関係行政機関としては高橋委員、市民団体としては白瀧委員をお願いしたい。事業者関係としては青年会議所の前田委員、公募委員は小山委員をお願いしたい。小山委員は本日欠席されているが承諾を得ている。</p> <p>Q：委員さん 7 名の推薦があった。何か質問、意見はあるか。</p> <p>なければ了承で良いか。</p> <p>了承</p> <p>(6) その他</p> <p><提言書等について事務局より説明></p> <p>質疑なし</p>
<p>会議資料</p>	<p>① 次第</p> <p>② 委員名簿</p> <p>③ 資料 1 ・ (修正案) 第 2 次飯塚市男女共同参画プラン (仮称)</p> <p>④ 資料 1 - 1 ・ 第 2 次飯塚市男女共同参画プラン体系 (案)</p> <p>⑤ 資料 2 ・ 平成 2 8 年度男女共同参画推進課事業計画</p> <p>⑥ 資料 2 - 1 平成 2 8 年度男女共同参画推進課事業計画 (業務部門)</p> <p>⑦ 資料 2 - 2 平成 2 8 年度男女共同参画推進課事業計画 (企画部門)</p> <p>⑧ 資料 3 ・ 飯塚市男女共同参画推進条例</p> <p>⑨ 資料 4 ・ 飯塚市男女共同参画推進委員会・専門部会・女性活躍推進協</p>

	<p>議会イメージ図</p> <p>⑩ 資料 5 ・ 提言書</p> <p>⑪ 資料 6 ・ 飯塚市審議会等の委員への女性登用推進に関する要綱</p> <p>⑫ 資料 7 ・ 飯塚市 DV 対策庁内連携会議設置規程</p>
公開・非公開 の別	<p>① 公開 2 一部公開 3 非公開</p> <p>(傍聴者 1 人)</p>
その他	